

川部会WGの活動スケジュールについて

1. 今年度の活動項目

第4回全体会議で提示された「今年度の活動方針について」より、主な活動項目を抽出し、その実施状況を整理しました。

テーマ1：生き物の棲みやすい川づくり（本川モデル）

活動テーマ	活動項目	実施状況
① 生き物の移動阻害について	・支川合流点評価のカルテ(案)の作成、 現状評価の実施	
	・加茂川合流点段差改善の検討	
② 微地形の多様性 (瀬淵・ワンドなど) について	・瀬淵・ワンド評価のカルテ(案)の作成、 現状評価の実施	
	・(仮)保全エリアマップの作成	
	・白浜工区のモニタリング	
	・川の微地形の把握	大同大学による 調査を実施中
	・関係者(矢作川漁協)との意見交換の継続 ・豊田市矢作川河川環境活性化プラン検討 委員会との連携(情報共有・意見交換等)	
③ 河床のアーマーカー コート化	・総合土砂管理の先進地域の視察(小渋ダム)	第27回WG予定
	・総合土砂管理検討委員会との情報共有	
	・土砂のあり方等の検討	
④ 外来種・在来種の対策	・外来種・在来種の最新動向の情報共有	
	・駆除活動への参加、駆除方法の改善等の検討 ・本来あるべき姿の検討	
⑤ 事業内容の情報共有	・河川整備計画の勉強会の継続	
	・事業内容の情報共有の継続・提案実施	

テーマ2：生き物の棲みやすい川づくり（家下川モデル）

活動テーマ	活動項目	実施状況
① 生き物の移動障害について （優先課題①）	・排水機場の改修に伴う段差解消方法の検討	第26回WG予定
	・移動障害箇所の情報共有の継続	第26回WG予定
	・矢板切り欠き箇所のモニタリング	
② 生き物の棲みかの不足について （優先課題②）	・リバーキーパーズの活動効果の情報共有	第25回WG
	・他の場所への展開の検討	
	・承水溝の浚渫に対する提案	第25回WG、 第26回WG予定
③ 水量不足について	・水源(家下川、農業用水、地下水)の情報収集、現地調査	

テーマ3：地先の課題（地先モデル）

活動テーマ	活動項目	実施状況
① 活動環境に関する課題について	・活動団体へのヒアリング （地先の課題の抽出）	
	・公開ヒアリング(仮称)の実施	
	・活動団体 MAP の作成 （川に関わる活動団体の把握）	第28回WG予定
	・個別課題の情報共有と解決の方向性検討	
② 活動推進上の課題について	・(仮) 専門家リストの充実、試行運用	第28回WG予定 （山本さんを中心に作成中）
	・河川空間利用の調整（関係機関、市民意見の反映）の場の提供	

2. 川部会WGの活動スケジュール

WG	モデル名	内容	日程（予定）
第 25 回	全体	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度の取り組み方針 川部会のスケジュール・WG の進め方 山川海の流域連携について 	5月 29 日（金） 18：00～20：00
第 26 回	家下川	<ul style="list-style-type: none"> 新設排水機場関連について （設計状況の説明、意見交換） 山川海の流域連携について 次回以降の会議日程について 	6月 29 日（月） 10：00～12：00
第 27 回	本川	<ul style="list-style-type: none"> 小渋ダム見学 	7月 18 日（月）
第 28 回	地先	<ul style="list-style-type: none"> 専門家リストについて 	8月 24 日（月） 午後
第 29 回	家下川		9 月
第 30 回			10 月
第 31 回			11 月
第 32 回			12 月

参考資料：今年度の活動方針について（第4回全体会議で提示）

テーマ①：生き物の棲みやすい川づくり（本川モデル）活動方針（案）

① 生き物の移動阻害について

WGメンバーで加茂川合流点・家下川合流点における移動阻害の改善状況のモニタリングに取り組む。

② 微地形の多様性（瀬淵・ワンドなど）について

微地形の多様性（瀬淵・ワンドなど）について、WGメンバーで現地調査や関係者との意見交換、豊田市矢作川河川環境活性化プラン検討委員会との連携を進め、(仮)保全エリアマップを作成する。

低水路拡幅後の河道の応答状況を把握するため、定期的な目視による観測に加え、河床形状の測量を行うことにより、学識者を主体として白浜工区をモニタリングする。

③ 河床のアーマコート化について

総合土砂管理の知見を深めるためにWGメンバーで先進地域を視察し、総合土砂管理検討委員会との情報共有を継続する。

④ 外来種・在来種の対策

生き物（在来種、外来種）の生息状況の情報共有を進める。

⑤ 事業内容の情報共有

河川事業の基本の理解を深めるため、河川整備計画の勉強会を開催するとともに、今年度実施される事業内容等を情報共有し、必要な場合には、市民や各専門の視点で提案する。

テーマ②：生き物の棲みやすい川づくり（家下川モデル）活動方針（案）

① 生き物の移動阻害について

（優先課題①）生き物の移動阻害について、管理者と連携して、排水機場の改修に伴う段差解消方法の検討を継続する。

② 生き物の棲みかの不足について

（優先課題②）生き物の棲みかの不足について、承水溝の浚渫方法に対する提案を具体化する。

矢作川の他の支川での活動展開を検討する。

③ 水量不足について

水量不足について、水源の情報収集・現地調査を実施し、新たな情報が得られた段階で、ひょうたん池（長池）の水量確保の可能性の検討を進める。

テーマ③：地先の課題（地先モデル）活動方針（案）

① 活動環境に関する課題について

協力いただける活動団体へのヒアリング（公開ヒアリング(仮称)の実施）を継続しながら、個別課題の解決の方向性を検討する。（事業実施に関わる地域の活動団体を対象とすることも考えられる。）

ヒアリング、アンケートなどを活用して、活動団体MAPを作成する。

② 活動推進上の課題について

WGメンバーからの情報提供により、(仮)専門家リストの充実・改良を図り、まずはWGメンバーで共有する。